

基準点インフラツーリズム2026春（江戸城周辺） 学習計画

開催日時：2026年4月22日（水）9:30～16:00

学習科目		時間		場所	研修・学習内容
1	座学研修	9:30~10:00	30分	測量年金会館	<p><b>テーマ：基準点カードが語る測量技術の200年 講師：高岸 且</b></p> <p>三角点、水準点、電子基準点など我が国の測量基準点の整備の歴史と役割について解説する。基準点カード等の資料を用いながら、日本の測量基準体系の変遷、基準点の設置目的、測量成果の維持管理の考え方を学び、現在の測量・設計業務における基準点の重要性について理解を深める。</p>
2	巡検学習	10:00-15:00 1箇所あたり実習時間	20分 5分	測量年金会館から日本水準原点（新宿区、中央区、千代田区等）  三角点、水準点、電子基準点、几号高低標、日本道路元標	<p><b>巡検学習</b></p> <p>実習時間：1箇所あたり約5分 巡検箇所：20箇所以上 巡検範囲：測量年金会館から日本水準原点（国会前庭）まで（新宿区、中央区、千代田区周辺） 江戸城周辺に設置されている測量基準点を対象に、スマートフォン地図アプリ（NaviTabi）を活用した巡検型実習を行う。事前に登録した50箇所以上の基準点スポットの中から、参加者は時間内に20箇所以上の基準点を巡検する。各基準点では以下を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基準点の現地確認・写真による記録・基準点の役割・設置目的等に関する技術問題への回答</li> <li>・解説資料の確認による理解の深化。 ・アプリの位置情報機能を利用し、基準点周辺（約30m）への到達を確認することで、巡検の到達記録を取得する。</li> </ul> <p>本実習により以下の技術理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①測量基準点の種類と役割の理解                      ②都市部における基準点配置の実態</li> <li>③GNSSおよび位置情報技術の実務利用              ④測量作業における位置確認・記録管理手法</li> </ul> <p>巡検結果について講評を行い、基準点の配置特性や測量基盤の重要性について整理する。</p> <p>安全管理 参加者の位置情報を主催者側でリアルタイムに確認し、巡検状況を把握する。 これにより、道迷いや事故等の発生時には迅速に対応できる体制を確保する。</p>
3	現地集合研修	15:10~16:00	50分	国会前庭（日本水準原点前）	<p><b>テーマ：新旧の測位体系—電子基準点、日本水準原点及び周辺的水準点—(講師：高岸且)</b></p> <p>日本水準原点および周辺的水準点を対象に、我が国の標高体系および測位基盤について解説。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の標高体系と水準測量の役割</li> <li>・日本水準原点の歴史と基準点体系</li> <li>・電子基準点（GNSS連続観測点）の仕組み</li> <li>・従来の水準測量とGNSS測位の関係</li> <li>・測量・設計業務における測位基盤の活用</li> </ul> <p>現地で基準点を確認しながら講義を行うことで、測量基準体系に対する理解を深化させる。</p>
合計			180分		